

## 令和 3 年度教職課程認定大学等実地視察について（案）

中央教育審議会初等中等教育分科会  
教 員 養 成 部 会

### 1. 実地視察の目的

教職課程認定大学等実地視察の目的は、教職課程認定大学実地視察規程（平成 13 年 7 月 19 日教員養成部会決定）及び指定教員養成機関実地視察規程（平成 24 年 2 月 15 日教員養成部会決定）に基づき、教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学の課程の認定を受けた大学及び教員養成機関としての指定を受けた機関について、認定及び指定時の課程の水準が維持され、その向上に努めているかどうかを確認する。

### 2. 概要

#### （1）総括的事項

- 令和 3 年度は、大学及び教員養成機関の計 4 大学等に対して、実地視察を行った。
- 全体として、教職課程の質を向上させるための積極的な取組を行っていることが確認できたものの、教職課程認定基準等の観点から教育課程及び教育組織等については是正すべき点のある大学等も見られた。

#### （2）個別的事項（個々の具体的評価、指摘・指導等）

##### ①教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 概ねどの大学等も教員養成に対する理念・構想を具現化するための全学組織、教育課程、教員組織等が整備されていることが確認できた。また、教職課程を置く学科等と事務組織の教務課等が連携しながら教職課程の運用を行っている点等が評価できる大学等があった。
- 一部の大学等において、教員養成に対する理念・構想を具体化・具現化するための全学組織等の充実に一層努めるよう求めた。

##### ②教職課程、履修方法及びシラバスの状況

- 多くの大学等で授業科目について、教育職員免許法施行規則（以下「施行規則」という。）に規定する事項や「教職課程コアカリキュラム」に照

らして、内容が不適合なものや、取り扱う内容が不十分であるものが散見されたため、適切な授業内容となるようシラバスの見直しや再検討を求めた。

### ③教育実習の取組状況

- 全ての大学等で、教育実習先に担当指導教員が訪問指導を行っており、丁寧な教育実習指導が実施されていることが確認できた。

### ④学生への教職指導の取組状況及び体制

- 大学等によって、以下のような教職指導に向けた適切な取組がなされていた。
  - ・ゼミ担任制を設け、小規模校である利点を生かし、きめ細やかな教職指導に取り組んでいる。
  - ・クラス担任を窓口とし、教務担当・キャリア担当職員と連携し教職指導に取り組んでいる。
- 履修カルテの活用については、古くなってしまっているものを改定するなど改善の上、積極的に教職指導に活用する方策について検討を求めた大学等もあった。

### ⑤教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校支援ボランティア活動等の活動状況）

- 多くの大学等で、早い段階から幼稚園等への実習体験や、インターンシップ・ボランティア活動等を行っていることが確認できた。また、一部の大学等では、教育実習受入校と教育実習懇談会を設定し、学生のよりよい学びに向けて協議を行っており、地元の幼稚園等との連携・協働に努めていた。

### ⑥施設・設備（図書を含む。）の状況

- どの大学等も教員養成のための施設・設備は概ね整備されており、一部の大学等では、図書館の閲覧スペース・学習スペースをラーニングコモンズのように活用できるような環境整備や、絵本コーナーを設置するなどの工夫が見られた。
- 一方で、図書環境が不十分な大学等があり、以下の指摘を行った。
  - ・教育関連図書の冊数が少なく、刊行年度が古い図書が多数あったため、教職を志す学生が教育に関する最新の情報を入手できるよう図書の充実を図ること。

### ⑦その他特記事項

- 一部の大学等において、幼稚園教諭の領域及び保育内容の指導法に関する科目の担当教員の業績について、担当科目との関連が判然としないケースが散見された。教員自身の専門性を高めることにより、指導の質向上に還元していくことが重要であることから、教員が研究・研鑽に取り組むことができる十分な環境を大学等として整備することを求めた。

### 3. まとめ

- 各課程認定大学等においては、体系的に教育課程を編成し、教員免許状を取得しようとする者に対する教職指導の実施等を通じて、教職を志す学生が体系的・計画的に教職課程を履修することができるような取組が求められる。
- また、そのために、教職課程の運営や教職指導を全学的に責任を持って行う体制の構築が不可欠であり、昨年 of 施行規則の改正により、複数の認定課程を有する大学は、それぞれの認定課程の円滑かつ効果的な実施を通じて、大学が定める教員の養成の目標を達成することができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えることとされた。これを踏まえ各大学等では全学的な連携や体制の更なる充実を進めて行くことが重要である。
- さらに、施行規則の改正においては、各大学は、認定課程の教育課程、教員組織、教育実習並びに施設及び設備の状況について自ら点検・評価を行い、その結果を公表することとされていることから、本部会での実地視察における指摘事項等も十分に踏まえた自己点検等を実施し、引き続き、教職課程の水準の維持・向上に努めることを期待する。

## 教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：令和4年1月18日（火曜日）

実地視察大学：会津大学短期大学部

### 【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されているものの、教育課程について一部再検討いただきたい点が確認された。今後、必要な措置を講じ、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

### 【個別事項】

#### 1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教員養成に対する理念・構想を具現化するための教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織に取り組んでいる姿勢は評価できる。今後、より一層充実させるように努めていただきたい。

#### 2. 教育課程（教科及び教職に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 「領域に関する専門的事項」の科目の教授内容に関し、複数の授業科目の一部の授業回で「保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」で教授すべき内容が含まれていることが確認された。免許法施行規則に定める事項の趣旨に照らし、領域の専門的知識を深化させる内容となるよう検討するとともに、シラバスで明確にすること。
- 「保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」における情報機器の活用について、保育者が情報機器を活用するという観点だけでなく、子ども自身が学びのツールとして情報機器を活用することも視野に入れてシラバスを再検討し、明確に示すこと。

#### 3. 教育実習の取組状況

- 原則母園実習は行わず、ほぼ全ての教育実習を県内の幼稚園・こども園等で行い、担当教員が巡回指導を行うなど、丁寧な教育実習指導が行われている点は評価できる。引き続き、地元教育委員会や幼稚園・こども園等との連携を進め、適切な教育実習指導に努めていただきたい。

#### 4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 教員養成カリキュラム委員会を組織し、ゼミ担任制を設けるなど、小規模校である利点を生かし、きめ細やかな教職指導に取り組んでいる姿勢は評価できる。今後は履修カルテの改訂も含め、より積極的に教職指導に活用する方策について引き続き検討いただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 早い段階から保育所・幼稚園への体験学習や、インターンシップが行われており、教職の魅力や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことは重要であることから、今後も学生に積極的に履修を推奨するとともに、地元の教育委員会・幼稚園等との連携・協働に努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 図書館の閲覧スペース・学習スペースをラーニングコモンズのように活用できるよう整備されており、また、絵本コーナーを設置するなどの工夫が見られた。教職関連図書・雑誌については、教職を志す学生が、教育に関する最新の情報を入手することができるよう引き続き図書環境の充実に努めていただきたい。
- ICT 機器については、教育方法をさらに充実させていくため、引き続き環境の整備・充実に努めていただきたい。

7. その他特記事項

- 自由科目で社会福祉士関係の科目を設定するなど、2年の養成期間で大学の特色を生かした教員養成に積極的に取り組んでいる点は評価できる。

## 教職課程実地視察教員養成機関に対する講評

実地視察日：令和4年1月25日（火曜日）

実地視察大学：越谷保育専門学校

## 【全般的事項】

- 全般的に教員組織、教育課程について充実しており、教職課程認定基準等の観点から一部是正すべき点が確認されたものの、全般的に基準を満たしており、良好に実施されていると思われる。引き続き教員養成の水準の維持・向上に努められたい。

## 【個別事項】

## 1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 貴学としての教員養成に対する理念・構想が明確化されており、それを具体化するための教育課程及び教員組織は整備されている。
- 教職課程に対する全学的な組織体制及び運用を一層充実させるように努めていただきたい。

## 2. 教育課程（教科及び教職に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 「保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の授業科目において、「指導案の作成」または「情報通信機器の活用」について、事項の趣旨に照らして十分な内容を取り扱っていることが確認できないシラバスが見られた。教職課程コアカリキュラムを参照の上、施行規則に定める事項の趣旨に照らして適切な授業内容及び表記となるよう、再度検討すること。
- 「特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解」の授業科目において、「自立活動」について、事項の趣旨に照らして十分な内容を取り扱っていることが確認できないシラバスが見られた。教職課程コアカリキュラムを参照の上、施行規則に定める事項の趣旨に照らして適切な授業内容及び表記となるよう、再度検討すること。
- 教育の基礎的理解に関する科目等の開設科目について、それぞれの授業科目で扱う内容及び生徒が身につける能力を整理した上で、1年次9月に実施される教育実習及びその後の学習にスムーズに繋げることができるよう、内容を再度検討すること。

## 3. 教育実習の取組状況

- ほぼ全ての教育実習先に担当指導教員が巡回指導を行うなど、充実した指導体制のもとで丁寧な教育実習指導が実施されている点は評価できる。引き続き、学校との連携を進め、巡回指導を含め、適切な教育実習指導に努めていただきたい。

4. 生徒への教職指導の取組状況及び体制

- クラス担任を窓口として、教務担当・キャリア担当等の職員と連携し全学的な体制において教職指導に取り組んでいる点は評価できる。引き続き充実に努めていただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 貴学園に設置する幼稚園等において、全生徒に対し、教員の仕事内容や子どもの様子等の幼稚園等の実際を経験し教育実習に備えることを目的として、実習体験を行っていることは評価できる。今後も継続して取り組んでいただきたい。
- ボランティア活動について、生徒への啓発や参加を促す仕組みについても検討いただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 教職関連図書・雑誌については、おおむね整備されていることが確認された。教職を志す生徒が、教育に関する最新の情報を入手することができるように、引き続き図書環境の充実に努めていただきたい。
- 幼稚園の教員養成のために必要な施設について、おおむね整備・充実している状況が確認された。

7. その他特記事項

- 教員組織について、教員人事を中長期的に充実させること。
- おもちゃインストラクター資格の取得等教育課程外の取組が充実している点は評価できる。
- 今後も、指導大学である十文字学園女子大学と緊密に連携しながら、教育課程、教員組織、施設・設備等のあり方について検討し、引き続き充実した教員養成を行うこと。

## 教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：令和3年12月14日（火曜日）

実地視察大学：岡崎女子大学

### 【全般的事項】

- 全般的に教員組織、教育課程について充実しており、教職課程認定基準等の観点からは是正すべき点が確認されたものの、先導的なモデルになり得る積極的な取組も見られた。引き続き教員養成の水準の維持・向上に努められたい。

### 【個別事項】

#### 1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教員養成に対する理念・構想を具現化するための教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織をより一層充実させるように努めていただきたい。
- 教務委員会、実習委員会を設置し、教職課程を置く学部学科と事務組織の教務課と連携しながら教職課程の運用を行っている点は評価できる。今後も令和4年度設置予定の教職課程委員会を中心とし、一層充実させるように努めていただきたい。

#### 2. 教育課程（教科及び教職に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 子ども教育学科（幼稚園教諭課程、小学校教諭課程）は、教職課程認定基準2（6）に定める「教員養成を主たる目的」とする学科等であることが前提である。当該学科等は教職課程認定審査の確認事項1（4）③に定めるとおり、卒業要件において幼稚園又は小学校の免許状取得に係る科目が相当程度、必修として位置付けられていることが必要である。  
しかしながら、学則等において、子ども教育学科の大半の科目が、選択科目として位置付けられていることが確認された。今後、「教員養成を主たる目的」とする学科等として、卒業要件における幼稚園及び小学校の免許状取得に係る科目の履修の位置付けを見直すこと。
- 「保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の授業科目において、「模擬保育」について、事項の趣旨に照らして十分な内容を取り扱っていることが確認できないシラバスが見られた。教職課程コアカリキュラムを参照の上、施行規則に定める事項の趣旨に照らして適切な授業内容及び表記となるよう、再度検討すること。
- 「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の授業科目において、「情報通信技術の活用」について、事項の趣旨に照らして十分な内容を取り扱っていることが確認できないシラバスが散見された。教職課程コアカリキュラムを参照の上、施行規則に定める事項の趣旨に照らして適切な授業内容及び表記となるよう、再度検討すること。
- 「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）」の授業科目において、「学校安全への対応」について、事項の趣旨に照らして十分な内容を取り扱っていることが確認できないシラバスが見られ



た。教職課程コアカリキュラムを参照の上、施行規則に定める事項の趣旨に照らして適切な授業内容及び表記となるよう、再度検討すること。

- 「特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解」の授業科目において、「自立活動」について、事項の趣旨に照らして十分な内容を取り扱っていることが確認できないシラバスが見られた。教職課程コアカリキュラムを参照の上、施行規則に定める事項の趣旨に照らして適切な授業内容及び表記となるよう、再度検討すること。

### 3. 教育実習の取組状況

- 教育委員会と連携し、ほぼ全ての教育実習先（母校実習の場合も含む。）に担当指導教員が訪問指導を行うなど、丁寧な教育実習指導が行われている点は評価できる。引き続き、地元教育委員会・学校と連携を進め、訪問指導を含め、適切な教育実習指導に努めていただきたい。

### 4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 定期的にガイダンスを行い、教職を目指す全学生に対して教職員が一体となって教職指導を行っている点は評価できる。現状、学生からみて教職指導の案内がわかりづらいように思われるため、今後、改善に努めていただきたい。

### 5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 大学と教育実習受入校とによる教育実習懇談会を設定し、学生のよりよい学びに向けて協議を行っている状況が確認できた。

### 6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 教職関連図書・雑誌については、おおむね整備されている。教職を志す学生が、教育に関する最新の情報を入手することができるように、引き続き図書環境の充実に努めていただきたい。
- 教職課程の科目に係る基本的な施設について、整備・充実している状況が確認された。引き続き、今後の教育方法の更なる充実のため、ICT環境等の整備充実に計画的に取り組んでいただきたい。

### 7. その他特記事項

- 1年次の授業科目において、ボランティアとして教育現場（幼稚園、小学校等）を体験する機会を設けている点は評価できる。
- 1年次の授業科目において、教師としてひとりの子どもとの接し方や集団を前にした時の対応、保護者との対話などを実践形式で学ぶ授業が開設されている点は評価できる。
- 4年次の授業科目において、教育実習とは別科目で学校現場における長期実習を実施できるようにしており、多くの学生が参加している点は評価できる。

- インクルーシブ教育について、一定の科目を習得した場合に「インクルーシブ教育士」（大学内認定資格）を取得できるなど、充実した取組が行われている点は評価できる。

## 教職課程実地視察教員養成機関に対する講評

実地視察日：令和3年12月13日（月曜日）

実地視察大学：奈良保育学院

## 【全般的事項】

- 教員組織、教育課程について、教職課程認定基準等の観点からは是正すべき点が確認されたため、この点について速やかに是正すること。

## 【個別事項】

## 1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 三大教育方針である建学の精神（敬身・敬学・敬事）を基盤とする教員養成に対する理念・構想を具体化・具現化するための全学的な組織や、教育課程・教員組織の充実に、一層努めていただきたい。

## 2. 教育課程（教科及び教職に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 「保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用含む。）」の科目の教授内容に関し、生徒自身が表現活動を行う内容で構成されており、事項の趣旨に照らして十分な内容を取り扱っていることが確認できない授業科目が散見された。教職課程コアカリキュラムを参照の上、免許法施行規則に定める事項の趣旨に照らして適切な授業内容となるよう検討すること。また、保育内容の指導法であることが分かる科目名称に変更することが望ましい。
- 免許法施行規則附則第7項を適用して開設している授業科目において、ピアノの基礎技術や、文章の書き方・話し方の基本などが取り扱われており、教科の内容に関する専門的知識を深める内容になっていない。今後、領域に関する専門的事項に移行していくにあたっては、免許法施行規則に定める事項の趣旨に照らして領域の専門的知識を深化させる内容となるよう十分に検討すること。
- 「幼児理解の理論及び方法」の授業科目において、教職課程コアカリキュラムに掲げる「幼児理解の意義と原理」及び「幼児理解の方法」の趣旨に沿った内容を十分に取り扱っていることをシラバスから確認することが困難である。教職課程コアカリキュラムを参照の上、免許法施行規則に定める事項の趣旨に照らして適切な授業内容となるよう検討すること。

## 3. 教育実習の取組状況

- 一部の例外を除き、学院が実習校を全て決定した上で、ほぼ全ての教育実習先に担当指導教員が訪問指導を行うなど、丁寧な教育実習指導が行われている点は評価できる。引き続き、地元教育委員会・学校と連携を進め、訪問指導を含め、適切な教育実習指導に努めていただきたい。

## 4. 生徒への教職指導の取組状況及び体制

- 教職課程検討委員会、就職検討委員会、実習検討委員会を組織してそれぞれの役割ごとに教職指導に取り組んでいる点は評価できるが、これら3つの組織と教育課程編成委員会との関連が不明瞭である。今後は学院全体で教員養成に取り組む体制を整備し、学生への教職指導に取り組んでいただきたい。

## 5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 生徒が、早い段階から学校におけるボランティア活動等を通じて、教職の魅力や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことは重要であることから、今後も学生に積極的に活動等を推奨するとともに、地元の教育委員会・幼稚園との連携・協働に努めていただきたい。

## 6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 幼稚園教諭養成のために必要な施設について、整備されている状況が確認された。
- 図書については、教育関連雑誌を配架するなど令和元年度の実地視察からの改善は見られるものの、教育関連図書については冊数が少なく、また、古いものが多数見られた。教職を志す生徒が教育に関する最新の情報を入手できる状況とは言い難く、図書環境の充実を図っていただきたい。

## 7. その他特記事項

- 領域及び保育内容の指導法に関する科目を担当している教員の業績について、担当科目との関連が判然としない教員が散見される。教員養成にあたっては教員自身の専門性を高めることにより、その成果を生徒への指導の質の向上に還元していくことが重要であるため、教員が研究・研鑽に取り組める十分な環境を整備いただきたい。
- 生徒への授業に関するアンケートについて、担当教員に結果を配付するだけでなく、非常勤講師含め各教員が授業内容・方法を改善し向上に努めることができるよう、適切にフィードバックをしていただきたい。
- 全生徒に受検させているピアヘルパー資格について、教職課程との関連が不透明である。全生徒に受検を求めるのであれば、ピアヘルパー資格を取得する意義・目的について丁寧に説明する必要がある。
- 指導大学と緊密に連携を取りながら、教育課程や教員組織等の在り方について、十分な検討を行い、教員養成の充実を図ること。